



学校だより

令和4年度小川中学校
令和4年12月26日 発行

NO, 9 文責:小林 浩一

<生徒総会、新旧役員引き継ぎ会 65期から66期へ 12月9日(金)>

～65期生徒会長 田邊凜子さんのあいさつより～



今日の生徒総会をもって生徒会を二年生へ引き継ぎます。先輩方から生徒会を引き継ぎ、早1年が経とうとしています。1年間というのも長いようであつという間に感じます。私自身、この1年間は内容の濃い年であり、一年間をやり通した今は清々しい気持ちでいっぱいです。日頃の生徒会活動やたくさんの新企画運営などの多くの壁を乗り越えられたのは全校、みなさんのおかげです。ありがとうございました。

さて、第65期生徒会がスタートを切つてからの始まりはまずテーマ決めでした。全校の皆さんから意見をもらい、何度も本部の中で話し合い、意見を交換させ決まったのが、今ある「心～感謝をつなげる・自ら生み出す～です。

【田邊会長冒頭挨拶】

今、皆さんはこのテーマに対してどう振り返るでしょうか。普段の学校生活や生徒会活動を通して自分の心が動く瞬間が見つかる、また相手の心を動かす言動をしてほしいという思いをこめてのテーマを掲げました。また、今期の生徒会を振り返り、自分自身に問いかけてみてください。それが次の第66期生徒会に何かしら繋ぐことができると思います。

今期の生徒会で私が一番印象に残っているのがやはり若鷹祭です。今年の若鷹祭「彩～輝け！それぞれの個性～」というテーマのもと、準備では各委員会が他の委員会と協力して活動していたり、真剣に意見を交換している姿があったりと準備の段階から全校で作り上げるという気持ちが伝わってきました。活動を計画的に実行することは簡単ではありませんでした。ですがそれを忘れさせるくらい楽しそうに生徒会に参画している姿を見た時、私自身、とても元気づけられました。当日は、それ以上に全校の一体感とそれぞれの個性の色で溢れていました。準備してきたことが全て出し終わり、やりきったという人たちがほとんどだったのではないのでしょうか。また、この若鷹祭で仲間と分かち合う達成感が感じられたのではないかと思います。そして、全校全体で作っていくことの重要さや大切さを改めて感じました。

この1年間を終えて、会員の皆さんが少しでも自分に自信を持って積極的に行動する姿、そして感謝を伝え合う姿がたくさんあったと私は感じています。皆さんもそう感じていてくれたら嬉しいです。

来年度の生徒会では、今年のテーマにもある「繋がり」を重要視していくということなので、今年度に行なったことを存分に活かして充実した企画や活動をたくさん行なってほしいです。全校の皆さんも来年度の生徒会へのご協力をお願いします。

今回の生徒総会では各委員会の活動の振り返りや、来年度の生徒会の生徒会組織について発表されます。今年度を振り返って意見や質問をたくさん出してください。活気の溢れる総会になることを期待しています。最後になりますが、第65期生徒会へのご協力ありがとうございました。

～66期新生徒会長 伊藤千晴さんのあいさつより～



改めまして、第66期生徒会長になりました伊藤千晴です。

まず初めに3年生の皆さん、これまで全校のリーダーとして中学校を引っ張っていただきありがとうございました。

私が今年度3年生の皆さんから学んできたことは、全校の意見を積極的に取り入れるということです。例えば、先日のポジティブウィーク最終日の放送の際に全校の皆さんが考えたポジティブになれるときの発表が心に残っています。私はこの全校の意見を積極的に取り入れるということはとても大切なことではないかと思います。なので、第66期生徒会では全校の意見を取り入れるということも引き継いでいきたいと思っています。

【伊藤新会長あいさつ】

また、「学年の壁を超えたつながりのある学校」を第一の目標として、私たち12名で力を合わせ精一杯頑張っていきたいと思っています。これから充実した委員会活動をするにあたって全校の皆さんのご協力が必要になるかと思いますが、よろしくお願い致します。

～校長先生のお話より～



先程まで、この会場の中では、一年間の生徒会の成果をお互いに認め合う多くの意見が出され、とても活発な熱気ある会となりました。

さて、第65期のまとめの総会が終わろうとしています。3年生の皆さんが今まで引っ張ってきてくれた第65期生徒会を振り返ってみますと、「クリエイティブ」（創造性）という言葉が最も当てはまるのではないのでしょうか。コロナ禍が続き、思うように活動が実施できない中、最善の方法を創造しながら、自分たちが決めた目標に向かって着実に、そして創造性豊かな活動内容を考え活動を行ってきたこの一年の生徒会でした。

今年の生徒会スローガンは「心 ～感謝をつなげる 自ら踏み出す～」でした。今年4月の生徒総会では、『感謝を伝え合う活動をしていきたい、感謝あふれる学校にしていきたい自ら生徒会活動に参画して欲しいという話

【山崎校長先生のお話】

がありました』これらの願いに向かって、本部執行や各委員会では、日常の当番活動などの他、様々なアイデアをもとに素晴らしい活動が実践され、感謝あふれる学校になっていきました。今日の議案書でも、『感謝』『積極性』『自信』のある学校づくりのために様々な企画の考案・運営ができた」と成果・反省が書かれていました。この一年間、『感謝』『積極性』『自信』という3つのキーワードを貫き通した、強い意志を感じる生徒会。見事でした。

この生徒会の姿、この3年生の姿を見て、新会長の伊藤千晴さん、副会長西沢悠希さんは 本部執行として活動する中で、先輩たちの姿をより身近に感じ、その偉大さを実感していたと思います。また、立ち会い演説会では「先輩方の企画をいかし、学年の壁を超えたつながりのある学校にするための企画を行っていききたい」と言っていました。このように先輩方への感謝と3年生の姿を目標としたいなど 恐らく同じような思いを、1・2年生の全員が持っているのではないのでしょうか。

3年生の築きあげた伝統が、確実に1・2年生の心の中に受け継がれています。1・2年生の皆さん、いよいよ第66期生徒会の始まりの時となりました。3年生の熱い思いを受けとめ、さらに、小川中学校の伝統を受け継いでいきましょう。伝統を受け継ぐとは、前の年と全く同じ事をしていくことではありま

せん。継続する所は継続する。変えない部分は変えない。そして世の中の流れの変化や、自分たちの持ち味を発揮するために、新しいことへの取り組みも大切です。自分たちにしかできない第66期生徒会をこれから創り上げていって下さい。

最後になりますが、3年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。まだ卒業までは3ヶ月あります。生徒会を引き継いでも、1・2年生にとって3年生はとても頼りになる存在です。最後の最後までで1・2年生に優しく指導し、温かく見守ってあげていって下さい。よろしくお願いいたします。

以上で終わります

生徒総会において、第65期から第66期生徒会へ引き継ぎが行われました。3年生のみなさんは、校長先生の言葉にあったように、この一年間、『感謝』『積極性』『自信』という3つのキーワードを貫き通した、強い意志を感じる生徒会だったと思います。本当にご苦労様でした。卒業まで1,2年生を暖かく見守っていただく下さい。



【生徒総会での討議風景】



【生徒総会の様子より】



【第65期生徒会役員退任のあいさつ】



【第66期生徒会役員紹介】



【新旧役員の引き継ぎ式】

<しめ縄づくり12月16日(金)>

2年生生徒会役員が運営する最初の学校行事「しめ縄づくり」が行われました。全体会、各会場での司会進行、そして準備から片付けまで、新役員のみなさんご苦労様でした。よいスタートが切れましたね。

しめ縄づくりは、3年生男子生徒の感想にもありましたが、二人一組で協力しながら、手際よく作業を進め、とてもきれいにできていたと思います。1時間の作業で3~4本はできていたのでしょうか。

しめ縄は普段お世話になっている地域のみなさんにメッセージを添えてお送りします。喜んでもらえるといいですね。



【協力して作業を進める】

<中条中との合同授業（1・3年）12月20日（火）>

中条中学校との山間地連携合同授業が2、3校時に中条中学校で行われました。1年生は国語で百人一首を行いました。最初は初対面の相手だったので、緊張感が伝わってきました。しかし、百人一首を進めていく中でリラックスした雰囲気となり、会話する姿も見られました。1年生は初めての合同授業で、とても楽しそうでした。

3年生は、長野地方検察庁の方を招き、社会科「裁判員裁判コンビニ強盗」を行いました。実際の裁判を模したロールプレイを見た後に、被告人が有罪なのか、無罪なのかをグループで話し合いました。協議開始時には無罪を主張する人が多かったのですが、最終的には有罪の意見が多くなるという白熱した議論となりました。中条中生徒の意見も聞いたことで、自分の見方や考え方が広がったようでした。

<人権講演会12月22日（木）>



【講演者の伊藤ひよりさん】

人権講演会では、シンガーソングライターの伊藤ひよりさんからLGBTQについて、ご自身の性同一性障がいや、その時々的心ない言葉による苦しみや葛藤について話していただきました。そんな中でも音楽と出会い、音楽に打ち込む中で、自分と向き合い、治療を通して自分を受け入れることができるようになったことも話されていました。

伊藤さんからみなさんへのメッセージ。コロナ禍による制限や思い通りにならないこともあると思いますが、周りの人はもちろん、自分自身を大切にしていってください。

<お知らせ>

【賞状受賞者について】

- ・第36回全国短歌フォーラム in 塩尻（学生の部）

最優秀賞【小島 なお 選】 授業中ペンを走らし見渡すととてもやさしく空が泣いていた
長野県 小川村立小川中学校 二年 古屋 陽向

《選評》ノートに集中していて、ふいにめぐりの気配の変化を感じたのでしょうか。顔をあげて窓の外を見ると、静かな、柔らかな雨が降っていた。自分の心と空の心とのやさしい交感。

秀作賞 二年 中村 竣 バスの窓おなかを見せて張りついて風に吹かれて飛んでいく虫

秀作賞 二年 小林 陸人 少しずつ縮まるタイム少しずつ伸びていく手足明日が楽しみ

- ・第66回 JA 共済小・中学生書道コンクール 入選 柳澤 晴夏さん（3学年）宮島 芽以さん（1学年）

- ・第41回全国中学生人権作文コンテスト

長野県大会長野地区予選 奨励賞 鎌倉 美咲さん（3学年）

- ・信濃教育会夏休み学習帳（6年生用）表紙採用 齊藤 春さん（1学年）

【ふるさとランド美術作品展のお知らせ】

1月6日（金）～1月31日（火）まで小・中学校の美術作品が展示されます。ぜひ、ご覧下さい。

【アルミ缶回収について】

今年度のアルミ缶回収は、地域の方々のご協力を得て、当初目標の倍以上の、810kgを集めることができました。ありがとうございます。収益金は新型コロナウイルスに関わる医療従事者の皆様に寄付をさせていただきます。（役場前、バステイ、びっくらんど小川での回収は終了いたします。）

【年末年始休業について】

12月27日（火）～1月4日（水）の年末年始休業になりますが、12月28日（水）から1月4日（水）まで学校閉庁日となります。ご理解とご協力をお願いいたします。ただし、休み中の事故やけが、病気等あった場合には、学校：026-269-2053または、担任までご連絡ください。